

「JJJ断熱診断 ソフトB」Ver4.10へのバージョンアップについて

新緑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「JJJ断熱診断 ソフトB」について ver. 4.10 へのバージョンアップを行いましたのでご案内致します。令和4年4月の性能表示基準の改正等に対応しております。ダウンロードの方法と主なバージョンアップの内容は下記の通りです。

記

1. JJJ断熱診断 Ver. 4.10 のダウンロード方法

下記アドレスからダウンロードしてバージョンアップを行ってください。

<https://ida-shindan.or.jp/association/info/2022/05/>

※アカウントとパスワードは、別途メールにてお知らせしております。

2. バージョンアップの内容

【基本機能】

- 1) 住宅性能表示制度の上位等級 (5, 6, 7) に対応
- 2) 外皮計算の変更に対応
- 3) 基礎の線熱貫流率の計算方法「基礎形状によらない値」に対応
- 4) 帳票「断熱等性能等級計算書」(概要版)の機能強化
- 5) おすすめ仕様の調整
- 6) 一次エネルギー消費量の計算式のバージョンアップ
- 7) 施主向け新帳票「光熱費・室温シミュレーション」の追加
- 8) 電気・ガスの単価設定に季節設定を追加

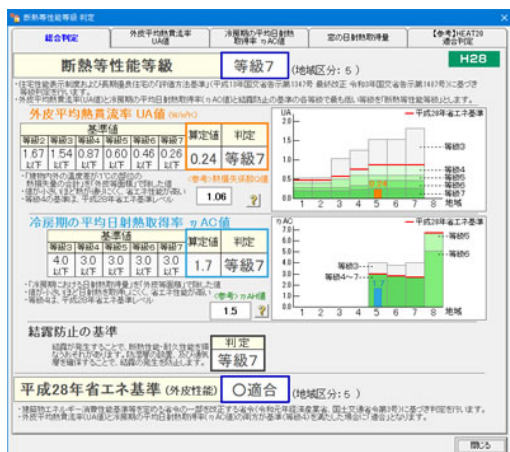
【パッシブ設計オプション】

- 1) 助走計算機能の調整
- 2) 壁結露判定画面の印刷機能を追加

※詳細は別紙をご確認ください。

【基本機能】

- 1) 住宅性能表示制度の上位等級に対応【標準機能】
 - ・4月1日に施行された住宅性能表示制度の断熱等性能等級5および一次エネルギー消費量等級6に対応
 - ・10月1日に施行予定の断熱等性能等級6,7にも対応
- 2) 外皮計算の変更に対応
 - ・「欄間付ドア、袖付ドア」の評価方法を変更
 - ・開口部の日よけ効果係数の算出において開口部の下方に位置する日よけを評価しない
- 3) 基礎の線熱貫流率の計算方法「基礎形状によらない値」に対応
 - ・基礎形状や断熱材の有無、施工位置によらず土間床上端と地盤面の高さの差に応じて評価する「基礎形状によらない値」に対応
- 4) 帳票「断熱等性能等級計算書」(概要版)の機能強化
 - ・暖房期の日射熱取得計算の根拠の出力に対応
- 5) おすすめ仕様の調整
 - ・HEAT20 発行の『HEAT20 設計ガイドブック 2021』に基づき新グレードG3に対応
 - ・外皮仕様のおすすめ仕様でG3水準の選択と判定を可能とした
 - ・G1, G2の仕様の見直し
- 6) 一次エネルギー消費量の計算式のバージョンアップ
 - ・(国研)建築研究所のエネルギー消費性能の算定方法の最新の計算式に対応
 - ・コージェネレーション設備に対応
- 7) 施主向け新帳票「光熱費・室温シミュレーション」の追加
 - ・建築物省エネ法に基づき算出する外皮性能(UA値、 η AC値)、および、一次エネルギー消費量計算の結果から、光熱費と室温を表示
 - ・結果の良し悪しを理解しやすくするため、プラン比較を可能とした
- 8) 電気・ガスの単価設定に季節設定を追加
 - ・光熱費を示す際の単価設定を季節変動の単価や夜間電力単価などを設定可能とした



外皮性能 等級7に対応



施主向けの新帳票

【パッシブ設計オプション】

1) 助走計算機能の調整

- ・室温・暖冷房負荷(1日)の計算実行時の助走日数を最大365日まで設定できるように調整

- ・助走日数を長く設定することで、主に基礎断熱の建物での計算の精度を向上

2) 壁結露判定画面の印刷機能を追加

壁結露判定画面（定常計算）の計算結果を印刷可能とした